

11月は『児童虐待防止推進月間』です

市では、地域や学校などの関係機関と連携し、児童虐待防止に向けた取り組みを行っていますが、痛ましい児童虐待をなくすためには、日ごろからみなさんそれぞれが児童虐待に対しての意識を持つ必要があります。

下記のようなことに気づいたときは虐待行為の疑いがありますので、市役所子ども・子育て支援課、児童相談所全国共通ダイヤル(☎189)、函館児童相談所(☎54-4152)、民生委員児童委員や主任児童委員にご連絡ください。なお通告者のプライバシーは法律で保護されています。

- ・近所から叩く音や叫び声が聞こえる
- ・不自然な傷が多い子どもがいる
- ・衣服や体がいつも極端に汚れている子どもがいる
- ・小さな子どもを置いて頻繁に外出している親がいる
- ・車内に子どもが放置されている

また、市役所子ども・子育て支援課では「児童家庭相談員」や「母子・父子自立支援員」を配置し、お子さんに関する悩みごとやひとり親家庭の悩みごとの相談に対して問題解決のお手伝いやアドバイスをしていますので、お気軽にご相談ください。

問 市役所子ども・子育て支援課子育て支援係[内線162]



女性に対する暴力をなくす運動



まずは、話してみませんか?

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター(全国共通番号)

#8891 はやくワンストップ

問 市役所市民課市民係[内線112・115]

毎年11月12日から25日までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではありません。

この運動期間をきっかけに、あらためて女性に対する暴力の問題について考え、暴力のない社会づくりをすすめましょう。

series 始めよう! SDGs HOKUTO SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ゴール17
パートナーシップで
目標を達成しよう
(その2)

ゴール17では、世界中のあらゆる人たちが協力するパートナーシップを充実させていくことを目的としています。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



社会に浸透していく SDGs

令和2年度から広報ほくとで隔月連載をスタートした「series始めよう!SDGs」。この間に社会のSDGsに対する注目度、認知度はどんどん上昇しています。テレビや新聞等では、SDGsをテーマとした番組や記事が頻繁に取り扱われ、SDGsがより身近なものとなりました。

SDGsの普及は、すなわちSDGsの達成に向けたパートナーシップの拡大に繋がり、より具体的な行動への力となります。

就活生と企業の SDGs

SDGsへの関心は、いまや就活の場にも広がっています。ある調査によると、就活生が企業選びをする際に、その企業がSDGsに取り組んでいる場合、「志望度が上がる」、「どちらかといえば上がる」と答えた人が70%以上という結果となりました。

また別の調査では、企業のSDGsに対する意識も変わり、「既に取り組んでいる」、「取り組みたいと考えている」といった前向きな企業が40%近い結果となっています。

SDGsは、就活生にとっても、企業にとっても、「選ばれる」うえでの1つの重要な要素となっています。

SDGs への取り組みを PR しませんか?

市では、さらなるSDGsの普及を図るため、市内企業や団体等におけるSDGsに関連した取り組みを市ホームページにて紹介したいと考えています。

SDGsへの取り組みを共有し、新たなパートナーシップの構築、更なる取り組みの推進に繋がっていきませんか?

取り組み事例は、エントリーフォームよりお知らせください。



【HP掲載エントリーフォーム】<https://www.harp.lg.jp/Awlf8zX2>